

文型と語順の見取り図

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール: 6つの型を運用し、長い主語の文でも動詞を見つけて型を判定できる

入試へ挑むクラス 偏差値のめやす 60以上 長い主語の見抜き方と、前置詞が要る動詞・要らない動詞まで (確認は4択)

気づき AとB、どちらも S made me ____ という同じ並び。でも日本語にすると別物になる。何が決めている? (30秒考えて、となりの人と答え合わせ)

A	She made me a cake.
B	She made me happy.

決め手は「私」と「そのあとの語」がイコールかどうかです。Aは私≠ケーキ→2つは別々のもので、動詞のうしろに「人」と「物」が並んでいます。Bは私=幸せ→うしろの語が「私」の状態を言っています。見分ける手順はひとつだけ、**あいだに「が」を入れて読む**。「私がケーキだ」(×) / 「私が幸せだ」(○)。読めたほうがSVOC、読めなければSV00です。

整理 この単元で扱う6つの型 (型を決めているのは動詞)

形	作り方	表すこと	例文
SV (第1文型)	S + V (+ 副詞句)	だれかが～する	The train arrived on time. 電車は時間どおりに着いた。
SVC (第2文型)	S + V + C (S=C)	Sは～だ／～になる	My father looks young. 父は若く見える。
SV0 (第3文型)	S + V + O (S≠O)	Sが～を…する	We discussed the plan. 私たちはその計画について話し合った。
SV00 (第4文型)	S + V + 人 + 物	人に物を～する	He gave me a ticket. 彼は私にチケットをくれた。
SVOC (第5文型)	S + V + O + C (O=C)	Oを～と呼ぶ／～にする	The news made us sad. その知らせは私たちを悲しませた。
SVOCの広がり	知覚・使役 + O + 原形 have + O + 過去分詞	Oが～するのを見る／させる Oを～してもらう	I saw him run. I had my bike repaired. 彼が走るのが見えた。／自転車を直してもらった。

入試で問われるのは表の暗記ではなく長い文でも型が見えるかです。①まず動詞をさがし、その手前までを主語のかたまりとして閉じるー前置詞句や関係詞で主語は簡単に10語を超えます。②have + O + 過去分詞は「してもらう」だけでなく被害にもなります (I had my bike stolen.) ーどちらかは場面が決めます。③知覚動詞は受け身になると to が現れます (He was seen to cross the road.) ー能動で消えていた to が戻る、と覚えると忘れません。④うしろに前置詞が要るかは動詞が決める (discuss / reach / enter は要らない。群動詞はユニット18で)。

確認 () 内から正しいものを選ぼう。 知識・技能

- (1) Everyone calls (Taku him / him Taku / him to Taku / to him Taku) .
- (2) I saw him (to cross / crosses / cross / has crossed) the road.
- (3) My mother let me (to stay / stayed / staying / stay) out until nine.
- (4) I got my brother (help / helped / to help / helping) me with the boxes.
- (5) We discussed (the plan / about the plan / on the plan / the plan about) for an hour.

文型と語順の見取り図 | 解答とつまずきポイント

確認の解答

(1)	him Taku	「彼がタクだ」と読めるのでSVOC。call / name はこの型を作る。
(2)	cross	知覚動詞のうしろは 原形 。「彼が渡る」と読めるのでSVOCの仲間。
(3)	stay	使役動詞 make / let / have のうしろも 原形 。
(4)	to help	get だけは to が要ります。have は原形、get は to 不定詞。入試で狙われる。
(5)	the plan	discuss は 前置詞が要らない動詞 。reach / enter / marry も同じ。

つまずき① Cに副詞を置いてしまう

Cになれるのは**名詞と形容詞**だけです。日本語の「～そうに見えた」に引かれて -ly を付けると文型ごと壊れます。「S=C」で読み直せば、Cが主語の様子を言う語だと分かります。

× She looked very happily at the news. → ○ She looked very happy at the news.
「彼女＝幸せ」なのでCは形容詞 happy。happily は動詞の様子を言う語で、Cにはなれない。

つまずき② SV00とSVOCを「うしろが2つ」でひとまとめにする

見分けはあいだに「が」を入れて読めるかだけ。読めればSVOC、読めなければSV00（人と物）。**同じ動詞が両方の型を作ります**—I found him a job.（「彼が仕事だ」は読めない→SV00）と I found him honest.（「彼が正直だ」は読める→SVOC）。

× This song makes me happiness. → ○ This song makes me happy.
「私＝幸せ」なのでCは形容詞。名詞 happiness を置くと「私に幸せを作ってあげる」というSV00の読みになる。

つまずき③ 知覚動詞・使役動詞のうしろに to を入れる

see / hear / feel / watch と make / let / have のうしろは**原形**。ただし **get** だけは **to** が要ります。「～してもらう」で覚えると get と have が混ざるので、**語ごとに覚えるのが速い**。

× The teacher made us to write a report. → ○ The teacher made us write a report.
使役の make のうしろは原形。to が要るのは get のときだけ。

つまずき④ 主語が長いと動詞を見失う

主語は1語とはかぎりません。前置詞句や関係詞がつけば10語を超えます。**まず動詞をさがし、その手前までを主語として閉じる**—判定はそれから。閉じたあとに it を置くと主語が二重になります。

× The new shop near the station it is always crowded. → ○ The new shop near the station is always crowded.
主語は The new shop near the station まで。閉じたあとに it は要らない。

つまずき⑤ 前置詞が要る動詞と要らない動詞を取りちがえる

前置詞が要るかは**動詞が決めます**。「～について」につられて足すと、0が前置詞句に化けて型が変わります。**要らない**: discuss / reach / enter / marry / attend. **要る**: listen to / arrive at / graduate from.

× We reached to the station just before the last train. → ○ We reached the station just before the last train.
reach は前置詞が要らない。arrive なら arrive at the station と at が要る。

授業のひとつ 前日にこの紙を配り、確認問題まで解いてこさせる反転で使えます。授業は「cross と crossing」「make と have」の検討（ドリル発展版 大問3）と、長い主語で動詞をさがす練習に充ててください。

